

# 奥羽大学報



キャンパス見学会 薬用植物園の見学

# 103

## 目次

薬学部6年制への対応/平成18年度入学試験日程	2
キャンパス見学会の開催/オープンキャンパスの開催/ 平成17年度(第14回)奥羽大学公開講座	3
薬学部早期体験学習(工場見学)/ 歯学部教員研修講演会/文学部第45回発表会	4
歯学部6学年教務日程変更/保護者懇談会/ ホームページリニューアル/慶熙大学との親善体育大会/ 第37回全日本学生総合体育大会	5
インターンシップ/検定試験結果	6
第13回奥羽祭のお知らせ/ 平成17年度大学院第3学年次研究経過発表会	7
附属病院	8
第93回FDI年次世界歯科大会/ イエテボリ大学歯周病科研修	9
第11回スチューデント・クリニシャン・プログラム日本 代表選抜大会に参加して/ 207th Meeting of The Electrochemical Society Inc.参加報告	10
Optics & Photonics2005/私が薦める一冊の本	11
同窓会	12
同窓生のひろば	13
学校法人晴川学舎 平成16年度決算報告	14
余滴/慶弔	15
行事予定	16

## 薬学部6年制への対応

本学薬学部の修業年限を4年から6年に延長するための学則変更の届出書を、7月27日(水)文部科学省に提出した。これは平成18年度の入学生から適用になる。

今回、薬学教育の修業年限が6年に延長されるのは、近年の医療技術の高度化、医薬分業の進展等に伴う医薬品の安全使用や薬害の防止などの社会的要請に応えるため、教養教育、医療薬学を中心とした専門教育の充実及び実務実習の大幅な期間延長が必要との理由から、学校教育法の一部改正が行われたことによる。

また、薬剤師法の一部改正により薬剤師国家試験の受験資格が、修業年限6年の薬学を履修する課程を卒業した者に与えられることになった。

わが国の薬学は西洋医薬品の国産化のための製薬技術者養成から出発してきたという歴

史的背景があり、薬学系の創薬科学を中心とした教育を行う修業年限4年の薬学部も残すことになり、全ての国公立の薬学部と一部の私立薬科大学で6年制と4年制が併設されることになる。

修業年限を6年に延長することに伴う400名の収容定員の増加に係る学則変更認可申請も、7月27日(水)に修業年限の延長の学則変更の届出と併せて行った。これは入学定員200名を変えないため、収容定員が800名から1,200名に増加することになったためである。

なお、届出事項は、届出書を提出した時点から効力が発生することになる。収容定員の増加は認可事項のため、大学設置・学校法人審議会に文部科学大臣が諮問し、答申を受けて文部科学大臣が認可することから、7月末に申請したものは、審査スケジュールからして9月末に認可されることになる。

## 平成18年度入学試験日程

学 部		歯 学 部			薬 学 部 6年制 収容定員認可申請中		
		出願期間	試験日	合格者 発 表	出願期間	試験日	合格者 発 表
推 薦 入 学		11/1(火)～ 11/7(月)	11/9(水)	11/10(木)	11/1(火)～ 11/9(水)	11/12(土)	11/15(火)
一 般 選 抜 入 学	一 期 試 験	1/10(火)～ 2/6(月)	2/8(水)	2/9(木)	1/10(火)～ 2/6(月)	2/10(金)	2/14(火)
	二 期 試 験	2/13(月)～ 3/1(水)	3/3(金)	3/4(土)	2/20(月)～ 3/3(金)	3/6(月)	3/9(木)

※薬学部の入学試験は予定です。  
正式な内容は、認可後の募集要項でご確認ください。

### キャンパス見学会の開催

平成17年度キャンパス見学会を8月19日(金)、20日(土)の2日間に亘り開催した。受験希望者の参加者数は2日間を合わせて歯学部49名、薬学部98名の計147名で、北は岩手県から南は大分県まで広い地域から参加していただいた。

プログラムとして、入試概要説明、模擬授業、キャンパス見学、進学相談、実習体験を各学部に分かれて実施したが、それぞれの学部の特徴を活かした実習体験が、参加者から特に好評であった。

また、進学相談では、入学試験や大学周辺の生活環境等、様々な質問があった中で、次年度から6年制に移行する薬学部のカリキュラムに関する質問が多かった。



### オープンキャンパスの開催

キャンパス見学会に続き、つぎの日程でオープンキャンパスを開催します。当日は歯学部・薬学部の入試要項の配布の他、個別での進学相談会を行います。

日時 10月16日(日) 10:30~15:00  
 会場 本学 5号館 512教室  
 内容 個別による進学相談及び入試関係資料コーナーの設置

### 平成17年度(第14回)

#### 奥羽大学公開講座

本学では、毎年生涯学習の一環として、専任のスタッフによる公開講座を開催しています。お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

○メインテーマ

『お口とからだの健康』

○日 時

9月24日(土)・10月1日(土)・15日(土)・22日(土)

開場 9:00~

前半 9:30~10:30(60分)

休憩 10:30~10:45(15分)

後半 10:45~11:45(60分)

○会場 本学 第2講義棟 第1講義室

○受講費 無料

○対象者 どなたでも参加できます。

○定員 約350名(定員になり次第、締め切ります。予約不要)

○駐車場 完備

○問合せ 学事部 教務課

	期日	テーマ	講師
第1回	9/24 (土)	歯科疾患と全身との関係	高橋 和裕 歯学部教授
		くすりのきさめを科学する	小池 勇一 薬学部教授
第2回	10/1 (土)	歯周病の原因と予防	鈴木 史彦 歯学部講師
		高血圧とくすり	高田 芳伸 薬学部教授
第3回	10/15 (土)	口臭と口腔乾燥症	中江 次郎 歯学部講師
		糖尿病とくすり	衛藤 雅昭 薬学部教授
第4回	10/22 (土)	睡眠時無呼吸症候群	高田 訓 歯学部助教授
		健康食品とくすり	上野 明道 薬学部教授

※ 前回の学報に掲載した「テーマ・講師一覧表」に一部変更がありました。上記の表をご参考ください。

### 薬学部早期体験学習(工場見学)

平成17年8月2日(火)に、薬学部早期体験学習の一環として、(株)ツムラ茨城工場およびエスエス製薬(株)成田工場の工場見学が実施されました(参加者43名)。(株)ツムラ茨城工場では、漢方薬の原料となる生薬貯蔵庫ならびに品質管理センターを見学し、原料の保管および品質管理の重要性を学び、また薬草園において生薬に実際触れることもできました。

一方、エスエス製薬(株)成田工場では、固形製剤棟にて一般市販医薬品の製造工程を見学し、徹底した衛生管理のもと原料の配合から包装まで、すべてオートメーション化されていることを学びました。「薬学教育モデルコアカリキュラム」に、薬学生が学習に対するモチベーションを高めるため、製薬企業の業務を見聞し、社会において果たしている役割について理解するという目標があり、今回の工場見学は、その到達目標として非常に有意義なものであったと思います。

今回、工場見学場所を手配していただいた藤井祐一助教授、ならびにお忙しいなか工場内を案内していただいた(株)ツムラ茨城工場、エスエス製薬(株)成田工場の関係者各位に深く感謝いたします。

(柏木 良友)



### 歯学部教員研修講演会

平成17年度の第1回教員研修講演会は8月3日(水) 本学附属病院棟5階臨床講義室で開催された。本研修会は授業および実習の教育能力の開発と向上に資することを目的としている。

今回の講師は、吉岡俊正先生(東京女子医科大学教授)で、テーマは、「東京女子医科大学のPBLチュートリアル教育：理念と実践」として、東京女子医科大学におけるPBL(問題解決型教育)チュートリアル教育の構築、その背景、そして課題作成方法を含めた実践について講演をいただいた。

「チュートリアル教育」をテーマとした研修会は前回、前々回に引き続き3回目となり、教員の関心度が増し理解もかなり深まってきた。既に本歯学部内において、カリキュラムの一部となるチュートリアル教育の導入検討が行われている。学生への教育方法を模索するなか、本研修講演会は大変意義のある興味深い内容のものであった。

### 文学会第45回発表会

発表者：橋本 博幸助教授

題目：写本における文字づかい

『宇治拾遺物語』第49話が、嵯峨帝と小野篁の間に交わされた挿話を収めている。発表者は、これを資料として、そこにみられる「文字づかい」をめぐって、次のような諸点についての所見を発表した。(1) 助動詞〈けり〉の已然形〈けれ〉の表記。(2) 係助詞〈は〉・接続助詞〈ば〉と〈ハ〉との関係。(3) 「衾この子<sup>ヲ</sup>〜」の部分の文字づかい。(4) 「片仮名の衾もじ」について。

発表のあと、出席者からのさまざまな質問や疑問が出され、和やかな緊張の中で幕を閉じた。後日、次のような感想を漏らした出席者がいたので記しておく。「発表者の指摘したことに留意しないで、もし、読み易く書き直された通行のテキストを手にするなら、読者は、微妙な誤読に陥る危険がありますね。」

(小野 四平)

### 歯学部6学年教務日程変更

下記のとおり教務日程を一部変更いたします。

平成17年度 第6学年後期授業時間割

H17. 7. 12変更

月 日	曜	内 容
1月10日	火	第2回卒業試験
1月11日	水	
1月23日	月	第3回卒業試験
1月24日	火	
1月27日	金	卒業予定者発表
1月30日	月	第5回総合試験
1月31日	火	
3月10日	金	卒業証書・学位記授与式

### 保護者懇談会

保護者懇談会を10月15日(土)に開催します。前期定期試験の結果等をもとに、保護者の方とクラス担任が懇談をする機会です。薬学部では初めての開催となり、大学祭も行われておりますので、ぜひ大学へ足をお運びください。

### ホームページリニューアル

ホームページは、開設以来デザイン・内容等ほとんど変更しておりませんでした。このたび初期メニュー・講座紹介・教員紹介・入試情報・新着情報等をリアルタイムに掲載できるようになりました。

特に講座(教員)紹介は各々が教育・研究内容を直接入力し、業績のある講座(教員)は常に更新し、広く情報を提供できるようになりました。

### 慶熙大学との親善体育大会

姉妹校である韓国慶熙大学との親善体育大会が8月19日(金)に開催された。昨年の本学からの慶熙大学訪問に続き、今回は本学を会場とし、テニス競技が行われた。学生間親睦に大きな成果があった。今後はスポーツのみならず、学術研究での交流が約束された。



### 第37回全日本学生総合体育大会

○ゴルフ部

8月3日(水)～4日(木)

ザ・クイーンズヒルゴルフクラブ

男子団体 6位

女子団体 7位

総 合 5位



## ○硬式庭球部

7月30日(土)～8月3日(水)

軽井沢町塩沢地区民宿コート

女子団体 コンソレ優勝

## ○陸上部門

7月31日(日)本城陸上競技場

男子 1,500m 優勝 清水 峰太(歯1年)

5,000m 優勝 清水 峰太(歯1年)

陸上競技部門個人優秀選手賞

清水 峰太(歯1年)



## ○アーチェリー部

8月5日(金)～8月7日(日)

横浜市富岡総合公園洋弓場

新人戦 男子 3位 山崎 崇秀(歯1年)

## 第22回全日本医科歯科学生

## サーフィン選手権大会

7月28日(木)～8月8日(月)

宮崎県日向市金ヶ浜海岸

男子個人 3位 泉川 治樹(歯4年)

4位 波紫 真平(歯6年)

## インターンシップ

文学部学生の夏休み期間を利用して、本年もインターンシップが行われた。インターンシップは、就職してからのミスマッチを防ぐことを目的として、就職活動前の学生向けに実施されている。郡山市内を中心に、本年は5名の学生が各企業等で就業体験をした。各学生とも、実体験で得られることが多く、いい経験になったとの感想があった。経験を積み重ねて、今後の就職活動に繋げて欲しい。



## 検定試験結果

検定試験	実施日	合格者数
2005年度第1回実用英語技能検定試験	6月12日(日)	準2級 2名
平成17年度ワープロ検定試験		3級 1名
平成17年度パソコンスピード検定試験 日本語	7月2日(土)	3級 1名 4級 1名



## 第13回 奥羽祭 - テーマ:STARTING OVER-のお知らせ

### 第13回奥羽祭予定表

#### 10月15日(土)

時間	内容
9:30~10:30	・公開講座「口臭と口腔乾燥症」 中江次郎 歯学部講師
10:45~11:45	・公開講座「糖尿病とくすり」 衛藤雅昭 薬学部教授
10:00~16:00	・模擬店・室内展示
10:00~11:00	・ちょこっとLive
10:00~17:00	・千羽鶴を作ろう
11:00~12:00	・うまい店コンテスト
14:00~15:00	・これができたら1万円分の賞品バトル
15:30~17:00	・「玉置成実」LIVE
18:00~20:00	・中夜祭パフォーマンスコンテスト

#### 10月16日(日)

時間	内容
10:00~17:00	・模擬店・室内展示
10:00~17:00	・千羽鶴を作ろう
12:00~13:00	・お笑いライブ
13:00~14:00	・ピンゴ大会
14:30~15:30	・これができたら1万円分の 賞品バトル

### 平成17年度

#### 大学院第3学年次研究経過発表会

平成17年度の第3学年次研究経過発表が、8月25日(木)午後1時30分から病院棟5階臨床講義室で行われました。

この研究経過発表は、3年目の大学院生が現在進めている研究について報告し、それに対して大学院教員が種々のアドバイスをし、今後の研究遂行に役立ててもらうことを目的に開催されるものです。また、指導にあっている主任教授からもコメントがあります。

今回の発表会には、大学院教員をはじめ、各講座の教員、大学院生が多数参加しました。発表会は研究科長の開会の挨拶で始まり、大学院運営委員の鎌田政善教授の司会進行の下、荒木田安弘君(口腔機能回復学専攻)、大貫武司君(口腔機能回復学専攻)、大植一樹君(顎顔面口腔矯正学専攻)の3名の大学

院生が研究経過の発表を行いました。それぞれの研究報告に対しては参加者の教員から活発な質疑があり、熱心に討論が行われました。発表会は予定時間をオーバーしましたが盛会のうち長山克也教授の閉会の挨拶で終了しました。

(鈴木 康生)



## 附属病院

### 附属病院における院内BLS-AED講習会の実施

附属病院では、3月にAED（自動除細動器：心臓のけいれんによる心停止を電気ショックで回復させる器具）を設置しました。BLS（1次心肺蘇生）やAED使用は、一般人にも認められ、多くの救命例が報告されており、われわれ医療従事者が「知らない」は許されない状況です。そこで、病院全職員を対象としたBLS-AED講習会を行いました。

講習会は8月中旬～9月下旬までの平日17:30～18:30で、1回の受講者6～9名に対しインストラクター3名とし、合計29回実施しました。インストラクターは学会認定の心肺蘇生コースを修了した当病院の歯科医師18名、看護師9名、歯科衛生士2名で、それ以外の職員207名を対象とし、3班に分かれてBLSとAED使用方法について講義と実習を楽しく行いました。院外でも心肺蘇生を行う可能性を考慮し、受講者全員にポケットマスク（人工呼吸を容易にする器具）を進呈し、携行を勧めました。今後もこのような講習会を開催し、病院の安全、医療の安全に貢献したいと思います。

（山崎 信也）



## 医療安全推進研修会

歯学部附属病院では、平成17年7月28日(木)に平成17年度第1回の医療安全推進研修会を開催しました。これは、厚生労働省令の医療法施行規則に従う職員研修の一環で、附属病院では年2回の定期的開催を行っています。

今回は、委員長清野和夫が医療安全推進委員会の役割を解説し、総合歯科関連を鈴木史彦委員が、口腔外科・病棟関連を金秀樹委員が、それぞれの立場からリスクマネジメントについて解説しました。研修会には教職員のほか、臨床研修医、臨床系大学院生を合わせて198名が参加しました。今年度は医療事故防止マニュアル第4版を発刊したこともあり、新たに追加されたインシデント・アクシデントの事例報告、原因究明および予防策を中心に研修を行いました。附属病院では、これからも安全で信頼性の高い歯科医療を、そして患者さんが安心して受診できる歯科医療環境の構築を目指し、医療安全推進委員会を中心に務めてまいります。

（清野 和夫）

## 歯学部歯科検診実施

平成17年度の歯科検診は、6月29日(水)から7月20日(水)までの延べ11日間にわたり歯学部第1学年から5学年までの学生を対象に行われました。会場は総合歯科第1診療室で、毎回午後4時30分から約1時間、院内生あるいは研修歯科医師が2人ペアとなり検診業務を行い、さらに総合歯科の担当歯科医師3名により検診結果のチェックを行いました。各スタッフも回を重ねる毎に熟達し、円滑に終了することが出来ました。ご協力いただきました関係者に深く感謝申し上げます。

検診開始時刻は講義、実習が終了した直後としましたので学年によっては受診率に大きな差が生じ、われわれ検診実施側の不徹底も一つの要因と考えられました。

（釜田 朗）

## 第93回FDI年次世界歯科大会

8月24日(水)から4日間にわたり、世界各国の歯科専門職が参加する一大祭典、FDI年次世界歯科大会がカナダ・モントリオールで開催されました。私自身二度目の参加となる今回は、歯科臨床に直結した研究テーマを選び“Bite force control by neck muscles”と題してポスター発表を行いました。質疑応答の中で特に印象に残った事は、インプラントが専門という女性歯科医師の方が、熱心に研究目的や臨床的意義について質問していった翌日、「あなたの研究成果を就寝の際に実践してみたら、心地よく目覚めることができました。」と微笑みながら話しかけてきたことでした。発表者に自信と勇気を与えてくれるこのような討論を、今後の教育研究活動に積極的に応用したいと思いました。

全日程を無事終了し、快晴の上空を西に向かう飛行機の窓から世界地図でおなじみの2つの湖（五大湖の一部）と、その間に横たわるナイアガラ瀑布を目を凝らして眺めつつ、晩夏の北米大陸を後にしました。

最後に、今回の出張に際してご配慮くださった関係各位に多大なる感謝を申し上げます。

(宗形 芳英)



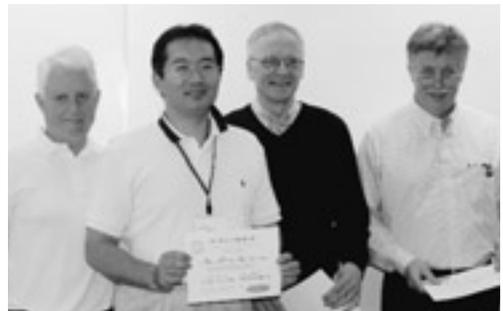
受付風景およびポスター前にて

## イエテボリ大学歯周病科研修

本年6月、スウェーデンのイエテボリ大学歯周病学教室にてリンデ教授を始めとする歯周病学講座の教授陣による講義を直接受ける機会に恵まれました。リンデ教授は岡本教授が師事されていた頃とかかわらず、現在も世界中で活躍されておられます。

スウェーデンの大学の歯学部は日本と異なり、歯科医師国家試験がありません。学生教育も6年制という点では共通していますが、1学年20名という少ない定員で、臨床実習は2年生から始まります。国家試験がない代わりに各学年の進級試験の合格は100点満点中92点と高く、それぞれの学年で、全ての教科をクリアしない限り歯科医師にはなれない、ある意味日本よりも厳しいシステムを取り入れていました。

開業も、EUに加盟前はクリニック数が国で決められており、自由開業はできない環境で、多くの歯科医は順番待ちを強いられました。加盟後の現在では開業は許されたものの、歯科医師の免許は書き換え制度により、最寄りの大学で実施される継続講義の単位



左からリンデ教授、私、ペンストレム教授、ランベリー助教授



を、毎年必要数取得しないと免許の継続が許されないシステムです。そのため多くのスウェーデンの歯科医師は海外に流出し、現在スウェーデン国内では歯科医師不足が深刻な問題となっているようでした。

私が滞在した7日間は、到着日以外は天候に恵まれ、過ごしやすく充実した研修でした。今後はイェテボリ大学で学んだ多くのことを本学において生かして行くよう日々努力して行く所存です。多くの関係各位に心より感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

(佐藤 純)

### 第11回スチューデント・クリニシャン・プログラム日本代表選抜大会に参加して

第11回スチューデント・クリニシャン・プログラム日本代表選抜大会が、8月10日(水)に東京の新歯科医師会館において日本歯科医師会の主催で開催されました。このプログラムは世界中の歯科学者が、自身の研究成果をテーブルクリニックの形式で競い合うものです。日本代表になると秋に米国で開催される世界大会に出場できます。本年度は全国29歯学部中22学部が参加して行われました。

本学代表として発表したのは3年生の藤江由佳さんと、研究指導を受け持った口腔病態解析制御学講座の鈴木奈央助手と清浦が同行



しました。藤江さんの発表は歯周病原性細菌の病原因子に関する分子生物学的研究で、多くの審査員から大変高い研究レベルであるとお褒めの言葉をいただきました。発表と質疑応答はすべて英語でおこなわれ、藤江さんのネイティブと同様な英語力に皆驚いた様子でした。残念ながら優勝は逃がしましたが、入賞の結果でした。

また、今回の発表の成功には鈴木助手の今までの研究実績が大きく貢献しております。彼女の献身的な学生指導があればこそその成功でした。今回の結果を踏まえて来年度に参加する学生はさらに素晴らしいテーブルクリニックをおこなって、優勝カップを本学に持ち帰ってもらいたいと強く思いました。

最後に参加に際しての事務手続きを快く引き受けていただいた学事部の皆様方に感謝いたします。

(清浦 有祐)

### 207th Meeting of The Electrochemical Society Inc.参加報告

平成17年5月15日(日)から20日(金)までカナダケベック州ケベックシティのケベックシティコンベンションセンターで開かれた207th Meeting of The Electrochemical Society Inc.に参加し研究発表を行いました。ケベックシティはカナダの東部に位置し、近くにはセントローレンス川が流れ、今でも城壁と要塞が残る街並みは1985年にユネスコの世界遺産にも登録されました。また、フランスの植民地支配の拠点であったこともあり、いまだに街のいたるところ看板はフランス語であり、18世紀のヨーロッパスタイルの街並みが印象的でした。

本会議では世界各国の電気化学に関する研究報告がなされ、46のシンポジウムで2,500件以上の論文が発表されました。日本からも100名程度の研究者が参加し、その中の一人として「電気応答型薬物放出制御マイクロチップの開発」に関する研究発表を行い、関連する研究分野の多くの研究者の方々ともディ

スカッションする機会を得、充実した学会参加でありました。最後に、今回の学会参加に際して多くのご配慮を頂きました本学関係者各位に感謝いたします。

(柏木 良友)



セントローレンス川の  
ほとりにて

### Optics & Photonics2005

私は、薬学や医工学を含む工業分野における信号処理システムの高性能化や、微分方程式の高速高精度な数値解法を研究しています。

この度、フィルタバンクというデジタル信号処理装置における信号の推定に関する2編の研究論文が、Optics & Photonics2005という国際会議で採録され、発表する事ができました。

この国際会議は、3,600編以上の投稿論文、1,000以上の講演からなる大規模なもので今



年50周年を迎えたSPIE（国際光工学会）によって7月31日(日)から8月4日(木)にかけて米国サンディエゴで開催されました。私は8月1日(月)に現地に到着し、その翌日と翌々日に発表を滞りなく済ませることができました。発表後、提案した近似法の応用分野に対する質問があったり、参加者の一人が論文の送付を申し出たりするなど、一定の評価が得られたと思います。懇親会では東京工業大学の谷忠昭教授やSandia National LaboratoriesのVincent Salazar博士とお話をする事ができ、最新の画像処理技術に関する知見が得られました。

このような機会を与えてくれた本学の皆様に感謝いたします。

(木田 雄一)

### 私が薦める一冊の本

『問題な日本語—どこがおかしい?なにがおかしい?』

(北原 保雄編、大修館書店)

「あなたの肝機能検査、ヤバイ数値でしたよ」と笑顔で言われたら、誰しも一瞬血の気が引くのではないのでしょうか。実は、「ヤバイ」を「すばらしい」や「とても良い」といった肯定的な意味で使う若者が増えており、医学生においても例外ではないといえます。

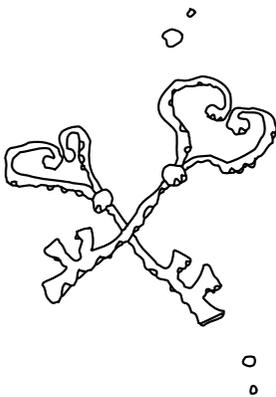
さて、本書は、問題のある言葉や表現が多数提示され、その一つ一つについて、なぜ誤用なのかを指摘し、さらに、そのような表現が生まれてくる背景、いわば誤用の論理を究明するという構成となっています。買い物や食事に出かけたとき、次のような言い方に違和感を持たれる方も多いのではないのでしょうか。「こちら刺身定食になります」(別の物が変化して刺身定食になるのか)、「お会計のほう〇※円になります」(ほう?)、「1万円からお預りします」(から?1万円の次にまた何か預かるのか)など。これらの表現は、丁寧さや慎重さを意図したものとされています。若者の会話に汎用される「わたし的には」、「っていうか」という言い方や、「きもい」、

「うざい」などの短縮言葉についても、言葉の乱れを感じるという声は多く、本書でも、そのような言葉の使用に至る心理が鋭く分析されています。

言葉のプロであるはずのアナウンサーにも、言葉の乱れは存在するようです。敬語の誤用、曖昧表現などに限らず、不注意や教養不足に起因するものも多く、かなり笑える例もあります。サッカーのワールドカップのときに、カメルーンをカルメーンと言った人「お盆休みを故郷で過ごす人達の帰省ラッシュが…」の故郷をストレートに「こきょう」と言う人（原稿上は故郷でも、ニュースの中ではふるさとと読むのです！）そして、紅葉の時期に多いのが、日光の霧降高原を霜降高原と言うケース（食欲の秋ですが、勝手に美味しい地名に変えないように）。

言葉には、時代とともに変遷する側面はありますが、今後、どんな表現が生まれてくるのでしょうか。

（阿部 匡聡）



## 同窓会

### 歯学部同窓会

四国地区連合の代表を務めさせて頂いています愛媛県の3期生河野です。

4県で支部として同窓会は、まだ残念ながら立ち上がっていません。香川県の同窓生は6名、徳島県7名、高知県13名、愛媛県10名、四国地区で以上36名です。以前に一度、四国地区歯科医学会が行われた時に、鈴木同窓会長並びに渉外部の田中先生と4地区の会合がありました。当時、愛媛県に於いては、私一人でありました。やっと、高知の西村会長と連絡を取り合って10月23日(日)の第56回四国地区歯科医学会の時を利用して集まりたいと思っています。そんなことで、連合代表の務めが今まで出来ていませんでしたが、この機会に4県代表の会合を持てれば良いと思っています。

愛媛県の同窓会では、新しい考えを取り入れたいのと同時に同窓会としての自覚を持って頂きたい為、会長を順次していくような方式を取り入れました。現在は竹内会長、河野副会長、霜村会計の役員となっています。後輩ではありますが、会を一生懸命良くしようとしています。北村先生におかれましては対外的にも積極的に参加して頂き、この場をお借りして御礼申し上げます。また、新入会員の歓迎会、忘年会などの会員同士のコミュニケーションを大切にしています。さらに、東京歯科、松本歯科大学と交友関係を結び、学術や総会、忘年会にも参加しています。ここ数年で会員数が増え、年の差もかなり出ています。これからが大切な時期であると思っています。これからすべき事は、学術講演の機会を作って行きたいと思います。「善友は助け合って成長し、悪友は誘い合って墮落する」と孔子の言葉がありますが、絆を深め、同窓会が育っていけばと願っています。

（四国地区連合代表 河野 章司）

## 同窓生のひろば



市川 修司

(歯学部15期生)

ある日のこと「高木先生から御電話です。」とのスタッフの声。患者さんに“ちょっとお待ち下さい。”早々に受話器をとる。一何か急用か？—それとも…。いやな予感。「学報頼むよ！同窓会の原稿！」—やっぱりきたか。いつかはくると思っていたが…。そんな訳で今こうやって筆を走らせている次第です。

私は15期生として東北歯科大学に入学、卒業後は、口腔解剖学第Ⅱ講座(組織学)にて山本茂久教授のもとで大学院生として4年間学ばせて頂きました。その後は、千葉県東葛飾郡関宿町(現、野田市関宿町)の医療法人剛歯会にて、勤務医、分院長として過ごしました。平成11年11月に故郷の前橋市にて開業しました。この原稿を書くきっかけとなりました13期の高木先生とは、学生時代、院生時代そして現在では開成会群馬県支部で、その上公私共に御世話になり、20年来のお付き合いであります。

ところで20年と言えば、日航機墜落事故というだれもが予想しなかった大惨事が起きて20年を迎えました。1985年8月12日、羽田を離陸した123便はダッチロールをしながら迷走し、群馬県の御巣鷹山に激突しました。群馬県の歯科医師たちは猛暑の中、朝から晩まで不眠不休で身元確認にあたったと聞いております。今日、自分におきかえて考えますと果たして医院を休診にしてボランティア活動ができるだろうか？経済的にも体力的にも今の私にはできるのだろうか。そんなことを考えさせられた8月でした。

最後に群馬県支部はとてもアットホームな雰囲気、何事も気軽に相談できる先輩方がたくさんいらっしゃいます。学生時代には厳しく、恐く…でも最後には助けて頂いた先生

方がおられます。そうした先生方とは今はお酒を飲みながら冗談を言い合える。支部長の加藤先生も前号でおっしゃられていた様に何でも相談できる楽しい会です。そんなみなさんに支えられて日々診療に励んでいる今日この頃です。



荒川 徳子

(日文科13期生)

卒業してから半年が経ちました。新しい環境で覚えなければならないことも多く、本当にあっという間の半年でした。

現在、私は奥羽大学に勤務し、図書館での仕事をしています。図書館の職員は6人で、貸出や図書の排架、新しい図書や雑誌の受入れ作業、複写、相互貸借、開館時と閉館時の清掃などのいろいろな仕事を分担し行っています。

最初の頃は、図書館で使われる専門用語も学生の頃に司書課程で習ったものではあるものの、慣れるまでに苦労しました。一つ一つの仕事をこなしていくのに精一杯で周りを見る余裕もありませんでした。半年を過ぎた今では仕事の流れも掴みはじめ、時間を有意義に使うことができるようになってきたように思います。図書館という静かで落ち着いた空間で仕事ができることを楽しく感じています。

今、大学での4年間を思い起こすと、懐かしく思います。友人と過ごした時間や授業時間、部活での活動など、いい思い出ばかりが思い出されます。毎年、大学祭に部活で出店していたのですが、その時は準備等で大変な思いもしたものの、今、思い出すと楽しかったなと心から思えます。

今年の大学祭も、もうすぐ開催となります。私にとっては5回目の大学祭となります。今年も楽しみです。

## 学校法人晴川学舎 平成16年度決算報告

## 資金収支計算書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

単位：千円

(収入の部) 科目	金額	(支出の部) 科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,029,591	人件費支出	2,365,913
手数料収入	79,953	教育研究経費支出	627,147
補助金収入	356,370	管理経費支出	453,967
資産運用収入	101,555	施設関係支出	500,061
事業収入	516,635	設備関係支出	781,998
雑収入	82,130	資産運用支出	1,250,405
前受金収入	1,850,932	その他の支出	194,618
その他の収入	1,930,152	資金支出調整勘定	△125,704
資金収入調整勘定	△1,325,380	次年度繰越支払資金	7,476,847
前年度繰越支払資金	6,903,314	支出の部合計	13,525,252
収入の部合計	13,525,252		

## 消費収支計算書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

単位：千円

(収入の部) 科目	金額	構成比	(支出の部) 科目	金額	構成比
学生生徒等納付金	3,029,591	72.6%	人件費	2,349,284	56.3%
手数料	79,953	1.9%	教育研究経費	1,348,977	32.3%
寄付金	8,660	0.2%	管理経費	570,330	13.7%
補助金	356,370	8.5%	資産処分差額	979	0.0%
資産運用収入	101,555	2.4%	徴収不能額	147	0.0%
事業収入	516,635	12.4%	消費支出合計	4,269,717	102.3%
雑収入	82,130	2.0%	当年度消費支出超過額	△97,592	-2.3%
帰属収入合計	4,174,894	100.0%			
基本金組入額合計	△2,769	-0.1%			
消費収入合計	4,172,125	99.9%			

## 貸借対照表

(平成17年3月31日)

単位：千円

(資産の部) 科目	金額	構成比	(負債・基本金・消費収支差額の部) 科目	金額	構成比
有形固定資産	13,204,880	33.9%	固定負債(退職給与引当金)	1,328,965	3.4%
うち土地	1,507,531	3.9%	流動負債	2,058,687	5.3%
うち建物	7,979,773	20.5%	うち未払金	114,822	0.3%
うち教育研究用機器備品	1,335,412	3.4%	うち前受金	1,850,932	4.7%
その他の固定資産	18,168,984	46.5%	基本金	24,782,424	63.5%
流動資産	7,630,136	19.6%	消費収支差額	10,833,924	27.8%
うち現金預金	7,476,847	19.2%	うち翌年度繰越消費収入超過額	2,333,924	6.0%
合計	39,004,000	100.0%	合計	39,004,000	100.0%

※固定負債は全額が退職給与引当金である。

## 【主な事業の状況】

○薬学部設置認可(平成16年11月30日)

- ・薬用植物園の造園
- ・1・4・5号館、軽食堂の改修工事

○第三者評価

- ・(財)大学基準協会の評価を受ける。

○歯学部の教育・研究体制改革

- ・講座再編
- ・教育科目、研究指導の整備

○ペイオフへの対応

注記

1. 減価償却額の累計額の合計 8,310,889千円
2. 退職給与引当金の額は、期末要支給額の100%を計上。
3. 基本金未組入額 0千円

## 余 滴

## 少子化に思う

突然ですが、私には子供が5人おります。今も、家内のおなかに1人入っていますので、来年には6人になる予定です。よく「山崎先生って、子供が好きなんですね」と言われるのですが、実は私、子作りが好きなのでから一、残念!!

漫談はさておいて、少し子供の話をしたいと思います。少子化が進む現在の日本は、平均出生率が1.28と過去最低を更新し続け、将来が危ぶまれています。そこで、子育て支援政策なるものが進み、実際、私が居住する大玉村からは、出産時のお祝い金や、毎月の子育て支援金等が振り込まれます。しかし、そんな事で少子化に歯止めはかかるのでしょうか。

子供を敬遠する大きな理由として「育児が大変」というのをよく耳にしますが、私、子供が5人いても、それほど大変だとは思っておりません。それは、私が仕事や宿直や出張で家を空けることが多く、殆ど家内が子供を見てくれているためもあるとは思いますが(実は家内も働いています。切腹!!)、その家内も、それほど育児を苦にしていないようです。その証拠に、「子供に手がかからなくなり、寂しくなったので、もう1人ぐらいほしい」なんて事を言い出すのは家内なのです。子供が少ないと目が届きすぎて、かえって神経質になりがちですが、子供が多くなるにつれ、家庭内は戦時中のようになり、細かいことはどうでもよくなります。むしろ、上が下の面倒を見てくれたり、家事を手伝ってくれたりします。子供同士で遊ぶので、親が相手をする必要もありません。兄弟間で喜び合い、助け合い、刺激し合い、注意し合い、喧嘩し合い、恐らく何十倍も勉強になっています。将来、子供達が進学する頃には、家計はパンクするかもしれません。しかし、子供が本当に将来したい事、なりたいものがあれば、8人全員で協力し合い、どんな問題もクリアで

きると信じます。

お金や物で裕福になろうなんて、結局、無理でしょうし、もう、あきらめました。でも、多くの子供達で裕福になることはできそうです。

(山崎 信也)

## 慶 弔

## &lt;結 婚&gt;

おめでとございます。

○遊佐 淳子 歯学部口腔病態解析制御学 7月24日  
(旧姓 杉浦)

○小林 克也 図書館事務部事務職員 8月28日

## &lt;訃 報&gt;

謹んでお悔やみ申し上げます。

●歯学部 病院助手 中山 大輔

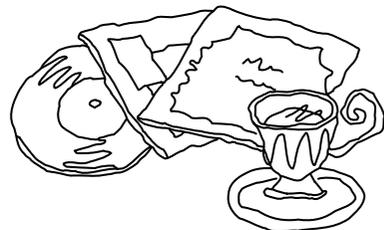
祖母 中山 広美 殿 (93歳) 8月10日

●歯学部 口腔病態解析制御学講師 橋本 勝一

義母 平賀 ゆり 殿 (88歳) 9月3日

●歯学部 口腔外科助教授 杉田 俊博

義父 藤田 金一 殿 (74歳) 9月11日



## 行事予定

平成17年

10 月 October	11 月 November	12 月 December
1(土) 第2回公開講座	1(火)～7(月)	7(水) ㊦就職ガイダンス (3年) 学生支援機構返還 説明会
5(水) ㊦就職ガイダンス (3年)	㊦推薦入学試験出 願期間	9(金) ㊦キャリアガイダンス
7(金) ㊦キャリアガイダンス	1(火)～9(水)	14(水) ㊦能力適性検査 (SPI) (3年)
15(土)・16(日) 奥羽祭	㊦推薦入学試験出 願期間	16(金) 創立記念日
15(土) ㊦㊦㊦保護者懇談会 ㊦共済基金委員会 第3回公開講座	1(火)～12/9(金)	19(月) ㊦臨床総合講義終 了(6年)
16(日) オープンキャンパス	㊦学位論文申請受付	21(水)・22(木)
20(木)～28(金)	9(水) ㊦推薦入学試験	㊦第1回卒業試験 (6年)
㊦個別面談(3年)	10(木) ㊦推薦入学試験合 格発表	23(金)～1/6(金)
22(土) 第4回公開講座	12(土) ㊦推薦入学試験	㊦冬季休業(5年)
	15(火) ㊦推薦入学試験合 格発表	23(金)～1/9(月)
	22(火) ㊦就職ガイダンス (3年)	㊦冬季休業 (1～4年・6年)
	25(金) ㊦公務員ガイダンス	26(月)～1/6(金)
	30(水) ㊦大学院学位記授 与式	㊦冬季休業
		26(月)・27(火)
		㊦集中講義
		28(水)～1/6(金)
		㊦冬季休業 (3・4年)
		29(木)～1/6(金)
		特別休業

## &lt;委員会からのお知らせ&gt;

本学報は、同窓生と在学生の保護者あてに送付しております。転居・住居表示の変更の場合は下記までご連絡くださるようお願いいたします。その際、お手数でも宛名シールの番号をご記入いただければ幸いです。なお、皆様からのご意見・ご感想をお寄せ下さい。

連絡先/奥羽大学 総務部 広報担当

奥羽大学報103号(通算No.228)平成17年9月15日発行

発行 奥羽大学  
学報編集委員会  
委員長 清水秋雄

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1  
電話 024(932)8931(代) FAX 024(933)7372  
ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>  
メールアドレス [info@ohu-u.ac.jp](mailto:info@ohu-u.ac.jp)